



足立区議会だより

発行/足立区議会
https://www.gikai-adachi.jp No. 313

第3回
定例会



足立区都市農業公園のコスモス

足立区議会写真部 小泉 ひろし 撮影

区長提出議案

令和3年度足立区一般会計歳入歳出決算を認定

(決算概要は8面掲載)

議員提出議案を可決

北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議

女性デジタル人材育成を強力に推進するための

支援を求める意見書

(6面参照)

令和4年第3回 定例会のあらまし

第3回定例会は、9月20日から10月19日までの30日間の会期で開会しました。本会議初日の区長あいさつの後、各会派の代表議員が、3日間にわたり区政全般について質問を行いました。

今定例会では、令和3年度足立区一般会計歳入歳出決算等、4会計決算を決算特別委員会で審査し、それぞれ認定しました。

その他の区長提出議案40件については、すべて原案のとおり可決し、諮問1件を異議のないものと答申したほか、1件の報告を承認しました。

また、議員提出議案3件のうち、2件を全会一致で可決し、1件の撤回を承認しました。

請願・陳情47件については、3件を不採択、44件を継続審査としました。

寄附行為の禁止

議員(候補者等を含む。)が選挙区内にある者に対し、お歳暮・お年賀等の贈り物をする場合は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。

また、受け取った人も罰せられます。

年賀状(答礼のための自筆によるものを除く。)を出すことも禁止されています。

区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

主な内容

- 2面 ● 区政を問う (各会派代表・一般質問)
- 5面 ● 議決結果
- 6面 ● みなさんからの請願・陳情
- 今定例会で可決した 決議・意見書(全文)
- 7面 ● 決算特別委員会の討論(要旨)
- 8面 ● 令和3年度各会計決算
- 決算特別委員会での審査と本会議での議決
- 決算特別委員会委員の名簿
- 及び委員会の審査結果
- 委員会活動

本会議の傍聴券交付場所が変更となります

令和4年第4回定例会から、本会議の傍聴券交付場所が、中央館6階区議会事務局となりますので、ご注意ください。

問う

令和4年9月20日、21日、22日に開会した本会議で代表・一般質問を行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、区政全般について、各会派を代表して5名の議員が代表質問を、各会派の5名の議員が一般質問を行いました。以下、その要旨を掲載します。

なお、2次元バーコードから各質問者の録画映像をご覧いただけます。※会議規則第59条第4項の規定により、かねだ正議員は議事堂での質問は行わず、質問通告書に対する回答は文書で受理しました。

足立区議会自由民主党

現実的な政策で「もっと好きになれる足立区」へ

自由民主党 長澤 こうすけ 議員

基金を活用し物価高騰対策を

【問】円安も相まって、今後も物価高騰が続くと予測される。区民生活や事業者の状況を把握するとともに、基金を積極的に活用し区民生活、区内経済への支援を迅速に実施すべきと考えますが、具体的な対策を伺う。

【政策経営】介護施設や保育施設等へのアンケート調査で実態を把握し、区独自で光熱水費等に対する補助を実施する。また、本年10月1日より、物価高騰対策として就学援助認定基準を生活保護基準の1.2倍に緩和する等、総額約4億円の補正予算案を本定例会に提出した。今後も影響の大きい分野には基金を積極的に活用し、スピード感をもって対策を講じていく。

【問】世論調査の結果から、防犯カメラは体感治安の向上に貢献すると考えられる。防犯カメラ設置数は着実に増えているが、継続的に増設すべきである。今後の設置方針と計画を伺う。

【危機管理】現在、区内には約2千台の防犯カメラが稼働中である。1㎞あたりの設置数が23区平均程度となる3千台を目標に年間300台ずつ増設し、令和7年度の達成を目指していく。

【防災都市まちづくりを推進せよ】都の地震に関する地域危険度測定調査結果によると、総合危険度のランク5に区内16町丁目が入っている。この調査結果に対する見解と今後の計画策定スケジュールを伺う。

【建築】総合危険度がランク5となった中川二丁目と日ノ出町は、老朽建築物の解体費等を助成する不燃化特区の区域外であったため、どのような事業を導入すべきか計画策定のスケジュールを含め検討していく。

また、火災危険度が都内1位の柳原地区は、密集市街地整備事業の導入を検討しており、速やかに計画を策定できるように取り組んでいく。



開始時間の前倒しを行う。

②区立公園の樹木を大きく育てるとともに、利用者の多い公園を優先してパーゴラの設置を進め、日陰の確保に努める。



欠席連絡をデジタル化せよ

【問】児童・生徒の欠席連絡の方法について、教員と保護者の負担を減らし、素早い連絡を取るためにも欠席連絡の運用システムをデジタル化する。

【教育指導】令和5年度から学校メール配信システムを更新し、欠席連絡機能を校務支援システムに連携させる。暫定的な方法として、Googleフォームの活用を進めている。

自由民主党

渡辺 ひであき 議員



足立区民の生命と財産を守る災害対策について問う。

より良い足立区地域防災計画構築のための指摘と提案を行う

【問】防災対策は、区民一人ひとりによる自助の取り組みが重要であるため、区は様々な媒体を通して防災意識啓発を行っている。特に近年、日本各地で水害が多発し、区民に自助の大切さは浸透してきていると考える。

①今後、区民に対しさらなる自助の具体について示すべきと考えるがどうか。

②避難所運営訓練は避難所ごとにメニューが異なっているが、想定しうるあらゆる場面の訓練を行うべきと考えるがどうか。

【総合防災】①災害からより多くの生命や財産を守るためには「自らの生命は自らが守る」と

テムを区内全小・中学校に導入すべきではないか。

【教育指導】令和5年度から学校メール配信システムを更新し、欠席連絡機能を校務支援システムに連携させる。暫定的な方法として、Googleフォームの活用を進めている。

【問】物価高騰で子育て世帯の家計負担は増している。利用者の施設の選択肢を増やすためにも、私立幼稚園の給食費無償化を早急に行うべきではないか。

【子ども】給食費を補助している保育施設とのバランスを踏まえ、令和5年度からの実施に向け検討していく。

【問】最大の観光資源である西新井大師周辺は、歴史ある店舗が閉店し活力を失いつつある。川越は城下町としての風情を残しつつ新しさも取り入れ、ま

【問】区最大の観光資源である西新井大師周辺は、歴史ある店舗が閉店し活力を失いつつある。川越は城下町としての風情を残しつつ新しさも取り入れ、ま

【問】西新井大師では様々なイベントが実施され、区の観光に大きく貢献してきた。地域経済活性化のために、地域と連携しイベントの支援をすべきではないか。

【都市建設】①門前周辺では、西新井大師の風格と和風のまち並みを活かした良好な景観を保全・継承する。その他のエリアでは、特別景観形成地区全体が歴史と文化を感じられる活気に

【産業経済】②イベント再開が地域経済活性化につながると考

西新井大師を中心とした魅力あるまちづくりを

自由民主党

かねだ 正 議員



子どもたちは学校にいる時間が2割弱、8割強を自宅等で過ごします。各家庭でも様々な状況を想定して、災害に備える心と知恵を共有してください」と記され、すばらしい内容と感じた。このような区の防災教育について、区民に周知するべきと思うがどうか。

【総合防災】「語り継ぐこと」の内容は、様々な状況を想定して災害に備えるために、とても大切である。多くの区民に防災

意識を高めてもらうため、教育委員会と連携するとともに、このような防災教育の取り組みについて、防災講演会等で広く区民に周知していく。



える。よさこい祭り等のイベント情報をSNSで発信するとともに、主催者と協議しイベント内容をブラッシュアップする等、支援を強化していく。



安定した運営を継続するために

【問】放課後子ども教室の運営支援は生涯学習振興公社が担っているが、年々職員が減っており、今後の活動が心配される。放課後子ども教室の現在の運営と今後の役割について伺う。

【学校運営】現在はボランティアによる見守り活動と公社の支援により、安全・安心な放課後の居場所の提供と安定的な実施

代表・一般質問(要旨)



本会議の録画映像を
区議会ホームページでご覧いただけます。
<https://www.gikai-adachi.jp>

区政を

に成果をあげている。
今後の役割は、児童の安全・
安心な居場所としての役割を果

認知症の方と共に暮らす 共生社会実現のために

自由民主党 杉本ゆう 議員



【問】「認知症の人とともに暮らすまちづくり宣言」を行った大牟田市は、2年間かけて修了する認知症コーディネーター養成研修を行っており、これまでに100名以上が修了している。

また、同市では地域包括支援センター等の責任者に同研修修了者の配置を義務付けている。

区でも同様の制度を導入することで、認知症コーディネーターに地域と行政を連携させるリーダーを担わせることができるかと考えるがどうか。

【高齢者】今後も増加が見込まれる認知症の方を地域で見守りながら、行政と現場の橋渡しや地域と行政を連携させるリーダーの育成が必要と考えている。先進事例を参考に、認知症サポーターフォローアップ講座の参加者等を中心に、地域で活躍できる人材を育成していく。



重度認知症対応の施設整備を

【問】重度認知症まで進行する

たすとともに、様々な体験機会
の提供等を通じて、自己肯定感
を醸成することと認識している。

と介護する家族の負担はそれま
でより大きくなるため、負担軽
減が必要である。区内にも認知
症患者に対応できると言うたう施
設はあるが、大声を出す等の場

足立区議会公明党

小さな声に寄り添い安全・ 安心な足立区の構築を!

公明党 くぼた美幸 議員



区運営で区民を元気に!

【問】長引くコロナ禍の影響で、
区内経済は厳しい環境に置かれ
ており、高齢者を始め区民が元
気になるような支援の継続が望
まれる。国の地方創生臨時交付
金を活用し、どのように取り
組むのか区長に伺う。

【区長】都の補正予算を精査し
て内容が被らない、より有効性
のある区独自の施策を展開した
い。業種・業態に沿ってアンケ
ト等を行い、実態に即した施策
を展開しながら区民の安全・安
心や気持ちに添えていく。

一歩踏み込んだ物価高騰対策を

【問】我が党は物価高騰に備え、
区内経済活性化施策の充実を求
める緊急要望書を区長に提出し
た。物価高騰の影響は保育園や
幼稚園等にも出ており、特に幼

合、ほとんどが受け入れてもら
えず家族が身動き取れない状況
が発生している。

重度認知症でも受け入れ可能
な施設等、ハード面の整備につ
いて、早急な対策を求めると同
時に区の方針を伺う。

【高齢者】重度認知症の方を受
け入れ可能な施設として、特別
養護老人ホームや認知症グル
ープホーム等がある。今後も高
齢者実態調査等で地域のニーズを
的確に捉え、受け入れ可能な施
設の整備を進める。

住宅に安価で入居できる仕組み を作っているか。

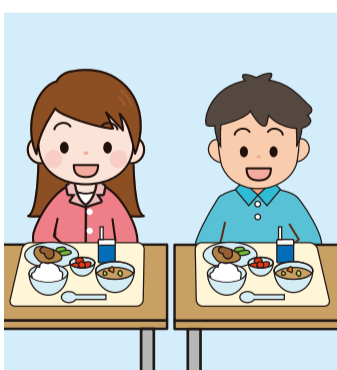
【福祉】セーフティネット事業
の活用に関して東京都住宅供給
公社と協定を締結し、ひとり親
世帯が低廉な家賃で入居できる
新規事業を立ち上げていく。

【問】UR都市機構が公表した
居住者向けアンケート調査の結
果によると、竹の塚第三団地は
建物の老朽化が課題であり、建
設を替える際に広い公園や文化施
設を作ってほしい等の声があつ
た。UR都市機構がストック再
生を検討するにあたり、竹ノ塚
駅東口駅前広場を含めた周辺地
域の大胆な整備を、区として要
望すべきではないか。

【都市建設】「ひとが主役」の
斬新なイメージをもった広場空
間とにぎわいを創出するため、
UR都市機構や東武鉄道が所有
する資源を活用した大胆な整備
の検討を要望し、「竹の塚エリ
ア」のイメージ一新に取り組む。
【学校給食費の無償化を進めよ】
【問】小・中学校の給食費は、

障がい児・者への支援の拡 充と区中部の課題について

公明党 水野あゆみ 議員



【問】居宅介護は代筆に十分な
時間が取れず、同行援護につい
ても外出を支援する規定上、自
宅での代筆支援ができない。目
の不自由な方が自宅等で受けら

全国で既に76自治体において無
償化されている。

①足立区で小・中学校の給食費
を無償化した場合、予算規模は
どの程度になるのか。

②区では給食費について、コロ
ナ禍における保護者負担軽減や
就学援助等を実施しているが、
現状において区はどの程度負担
しているのか。

③我が党は以前より小・中学校
の給食費無償化の要望を重ねて
きたが、今後の方向性を伺う。

【教育長】①すべての小・中学
校の児童・生徒の給食費を無償
化した場合、予算規模は約24億
円を見込んでいます。

②現時点での公費負担額は約9
億8千万円である。

③計画している学校改革や必要
な教育施策の実現等、様々な課
題を踏まえ、将来的な財政負担
を見極めて慎重に検討していく。

れる代読代筆支援が必要と考え
るがどうか。
【福祉】障害支援区分1以上の
受給者証を持ち、自宅での代読
代筆支援が必要な方には必要性
を確認し、家事援助の支給決定

時間に加えるようにする。



同行援護に実効性を

【問】視覚障がい児・者の同行
援護では、経済活動にかかる外
出や通年かつ長期にわたる通学
等が対象外だが、より実効性の
ある支援にすべきではないか。

【福祉】重度障害者等就労支援
特別事業の来年度中の開始を目
指しており、その中で通勤時の
同行援護が利用できるような支
援を検討していく。

【問】小学校では医療的ケアの
ために、医療的ケア児がバリア
フリートイレに横にならなけれ
ばいけない。バリアフリーとい
れに赤ちゃんベッドについては
小学生は使用できない。
小学生が寝られる大きさのベッ
ドの導入も必要ではないか。

【げんき】コンパクトで取り扱
いしやすい、可動式のベッドの
導入を検討していく。

区の未利用地を有効活用せよ

【問】地元地域の消防団から、
今まで使用していた訓練場所が
改修工事で使えなくなり、操法
大会の訓練ができないとの相談
があった。消防団の訓練場所と
して、区の未利用地や中学校校
庭等を貸し出してはどうか。
【総合防災】利用条件に合致す
る場合、各消防団の要望に応じ
て貸し出しをしていく。

DX推進と産前産後ケアについて



公明党 刈上 隆 議員

強力なリーダーシップを発揮せよ
【問】DX推進にあたり、職員の意識醸成は特に大切である。区のDX推進プロジェクト「あだちら」の推進には、区長やCDOのリーダーシップが大切になるが、今後の啓発・推進について伺う。

【政策経営】区長及びCDOである副区長の強力なリーダーシップのもと、ICT戦略推進担当課が中心となって情報発信し、DXに対する職員の意識醸成を進めていく。

産前産後の適切な支援体制を

【問】ASMAP(あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト)の要支援者は、事業開始以来、増加傾向である。増加要因をどのように分析し、対応しているのか。

【衛生】要支援となる対象項目は多い順に「出産後にサポートしてくれる人がいない」「やせすぎ」「太りすぎ」である。出産後にサポートがない方には、

日本共産党足立区議団

旧統一教会との関係を断ち、区民の願いを活かして!



日本共産党 浅子 けい子 議員

旧統一教会と関係を断つ決断を
【問】区は世界平和統一家庭連合(旧統一教会)から寄附を受け

領していたが、同団体や関連団体との関わりを一刻も早く断つべきだ。区は寄附等について



【地域】8月に区内のワーク・ライフ・バランス推進認定企業向けに講座を実施した。広く区民に情報が届くよう、広報等を活用して周知を図っていく。

男性の育児参加を進めるために

【問】「産後パパ育休」が今年10月に新設されることを機会に、男性の育児参加を進めるべきである。企業や従業員を含めた区民への広い周知が必要だが、どのように進めるのか。

【問】区は来年度の行財政運営方針で職員の自覚や責務を強調しているが、実態は退職不補充等で、区民千人あたりの職員数は23区の中で最低である。多忙による休職等が起きているため、職員の増員が必要ではないか。

【政策経営】職員の定数は業務の必要性や業務量等を精査し、適切な定数配置をしている。

また、適切に採用を行い、欠員が生じない人員配置に努め、年度途中の欠員は、会計年度任用職員の配置等で対応する。

家計への負担を軽減せよ

【問】区は昨年度から公立小・中学校の給食費を一部無償化した。対象は限定されている。

【教育長】すべての子どもが学校給食費を無償化した場合、年間経費として約24億円を見込んでいる。このため、将来的な財政負担を見極め、慎重に検討していく。

公共工事の在り方を改めよ

【問】北綾瀬駅前交通広場整備事業は当初予算から6億3千万円増額の見通しとなった。一日の乗降客数が、3万人程度の駅にペDESTリアンデッキを設置することは施策の優先度の点で問題である。設置の根拠を商業施設のエスカレーターが利用でき、利便性が向上すること等としているが、ペDESTリアンデッキ設置は商業施設のためと言われても仕方ないのではないか。

【道路公園】商業施設の完成で利用者増加が予想され、安全性等の観点から設置することとした。国の指針に基づき国庫補助金で整備するペDESTリアンデッキは商業施設のためだけではなく、にぎわい創りにも貢献でき、

看护士不足や感染症対策に苦しむ医療機関への支援を

【問】日本看護協会の直近の病院看護・外来看護実態調査報告書によると、正規雇用看護職員は約2割に減少している。また、民間医療法人の200床未満の病院でとりわけ高い。区内では個人や医療法人による開設で200床未満の病院が8割を占めており、看護確保の課題は今後もますます深刻化する。中断している看護&介護就職フェアの再開も含め、看護確保の課題がある区内病院へ、区がより積極的に支援すべきではないか。

【衛生】より積極的な支援については、区医師会や看護協会と

若者の力を活かすまちづくりを

【問】新城市は若者条例を制定し、若者議会を設置する等、若者の力を活かす施策を展開している。区でも同様の施策を展開すべきかどうか。

【政策経営】若者条例や若者議会が不明なため、現段階では検討していない。先行自治体の状況を調査し、研究していく。

足立区議会立憲民主党

物価高やコロナ禍における区民生活を支える施策を!



立憲民主党 おおぐら 修平 議員

実態に即した物価高対策を
【問】物価高対策について、区は保育施設等への光熱水費支給や就学援助認定基準の引き上げ等、必要性が高い分野へ支援を図ると考えを示した。その他の分野・世代についても実態把握を行い、物価高対策の強化に努めるべきだが区長の決意を伺う。

【区長】区内金融機関との意見交換や、業種・業態に沿ったアンケートやヒアリング等を行い、実態に即した有効な施策を時機を失せずに講じていく。

また、物価高騰の影響が大きいひとり親世帯や高齢者世帯等には、国や都の支援と重複しない区独自の対策を検討していく。

【問】区は「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に選定され、区内の大学や学生企業との連携等、新たな取り組みを示した。

一方、目の前に貧困状態にある若者やひとり親家庭等への就労キャリア支援の拡充等、総合的支援も強化すべきかどうか。

テントは診療で必ずしも必要と示されおらず、区独自の支援は考えていない。
一方、本年8月に区独自に医師会経由で、各医療機関に防護具や消毒液等を配布した。今後も継続的に支援していく。



立憲民主党 おおぐら 修平 議員

【政策経営】現在、生活に困っている方にはフードパントリー等の食の支援や居場所づくりを進め、ひとり親世帯等には東京都住宅供給公社の空き住戸を活用した居住支援を計画している。さらに、あだち若者サポートテラスSODAが個別支援の司令塔機能を果たし、その中では課題のある若年者への食や学習の支援等の新たな事業を検討し、支援策を強化していく。



【問】区は「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に選定され、区内の大学や学生企業との連携等、新たな取り組みを示した。

一方、目の前に貧困状態にある若者やひとり親家庭等への就労キャリア支援の拡充等、総合的支援も強化すべきかどうか。

次回の定例会

令和4年
第4回定例会
12月1日(木)
12月21日(水)
※会期は変更される場合があります。

用語説明

*CDO(Chief Digital Officer)・・・最高デジタル責任者のこと。

足立区議会改革を全力で押し進める会

足立区に集う全てのの人にやさしい街づくりを



議会改革推進 長谷川 たかこ 議員



がん患者が療養生活で困っていること等の相談窓口の新設を

【問】がん治療の専門スタッフによる栄養相談やリハビリテーション(外見ケア)についての相談も含めた多角的な支援ができる施設を、(仮称)江北健康づくりセンターに開設するよう強く要望するがどうか。

【衛生】(仮称)江北健康づくりセンターでは、がん患者の支援について、東京女子医科大学附属足立医療センターとの連携も含め、区医師会とともに実施に向けて検討していく。



屈折検査機器の導入が実現!

【問】カメラ型屈折検査機器を用いたスクリーニング検査を3歳児健診時だけでなく、小学校入学前3年間も保護者の希望により保健所で受診できる体制を早急に構築すべきか。

また、弱視の問題等についてファミリー学級の保健師、保育園、SNSやあだち広報等を活用して多くの区民に周知・啓発

すべきと強く要望するがどうか。

【衛生】3歳児健診以降、心配のある方には各保健センター等の乳幼児経過観察健診等で検査を実施していく。

また、弱視の問題等についてファミリー学級での啓発やリーフレットの配布を検討し、SNSやあだち広報等でも周知・啓発を行う。専門性の高い内容のため、専門機関のホームページのリンクを貼るなどし、SNSで発信していく。

第3回定例会での議決結果

区長提出議案

可決したもの

決算

◇令和3年度足立区一般会計歳入歳出決算

◇令和3年度足立区国民健康保険特別会計歳入歳出決算

◇令和3年度足立区介護保険特別会計歳入歳出決算

◇令和3年度足立区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

(4会計決算の内容及び審査結果は8面に掲載)

補正予算

◇令和4年度足立区一般会計補

正予算(第5号) 補正額 75億8千217万8千円 予算総額 3千308億8千円

(日本共産党足立区議団より 反対討論あり)

◇令和4年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

補正額 508万2千円 予算総額 723億3千427万1千円

◇令和4年度足立区介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正額 17億1千760万7千円 予算総額 692億174万9千円

(日本共産党足立区議団より 反対討論あり)

◇令和4年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額 231万円 予算総額 172億8千356万8千円

◇令和4年度足立区一般会計補正予算(第6号)

補正額 66億4千814万9千円 予算総額 3千375億3千623万7千円

条例

◇足立区個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

個人番号を利用する事務を追加するとともに規定を整備するもの

◇足立区人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例

◇足立区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

◇公益的法人等への足立区職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例

◇外国の地方公共団体の機関等

に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例

◇足立区非常勤職員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◇足立区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

◇足立区職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の改正に伴い、規定を整備するもの

◇足立区勤労福祉会館条例の一部を改正する条例

地方公務員法の改正に伴い、職員等の定年を引き上げるとともに、所要の規定を整備するもの

◇足立区子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

助成対象を拡大するもの

◇足立区北綾瀬駅周辺地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

建築基準法の規定に基づく地区計画を実施するもの

◇足立区事務手数料条例の一部を改正する条例

長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の改正に伴い、規定を整備するもの

◇足立区営住宅条例の一部を改正する条例

区営住宅を使用するために必要な条件の一部を削除するもの

◇足立区に係る沿道地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

規定を整備するもの

◇足立区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正に伴い、規定を整備するもの

◇足立区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の改正に伴い、

60歳に達した職員の給料月額その他の事項について規定を整備するもの

◇足立区防災減災対策整備基金条例の一部を改正する条例

基金の設置目的を拡充するもの

◇足立区男女共同参画社会推進条例の一部を改正する条例

足立区男女共同参画推進委員会の構成を変更するもの

◇足立区勤労福祉会館条例の一部を改正する条例

足立区勤労福祉会館の移転に伴い、同会館の位置を改めるほか、規定を整備するもの

◇足立区子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

助成対象を拡大するもの

◇足立区北綾瀬駅周辺地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

建築基準法の規定に基づく地区計画を実施するもの

◇足立区事務手数料条例の一部を改正する条例

長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の改正に伴い、規定を整備するもの

◇足立区営住宅条例の一部を改正する条例

区営住宅を使用するために必要な条件の一部を削除するもの

◇足立区に係る沿道地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

規定を整備するもの

◇足立区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の改正に伴い、

地方公務員法の改正に伴い、

地方公務員法の改正に伴い、

を改正する条例 区立小学校の統廃合に伴い、規定を整備するもの

◇東綾瀬中学校改築工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 49億9千290万円 相手方 三浦・田中・新井

◇上沼田東公園改修整備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 13億8千600万円 相手方 東京三田組・太和工業

◇(仮称)江北健康づくりセンター新築工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 23億6千329万5千円 相手方 武家田・浅香

◇債権の放棄について

児童扶養手当返還金及び児童育成手当返還金の債権を放棄するもの

◇積立金等返還請求調停に関する和解について

区立保育園の指定管理に係る、積立金等返還請求調停について和解するもの

◇東綾瀬中学校改築電気設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 5億3千900万円 相手方 トーテック・洗新

◇東綾瀬中学校改築空調設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 4億8千730万円 相手方 水工房・カンノ

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

契約方法 指名競争入札 契約金額 4千70万3千547円 相手方 廣瀬産業株式会社

◇(仮称)江北健康づくりセンター新築電気設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 7億2千600万円 相手方 雄光・拓電

◇(仮称)江北健康づくりセンター新築空調設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 4億9千758万7千200円 相手方 玉紘・産栄

◇東綾瀬中学校改築給排水衛生設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 4億9千390万円 相手方 東管・中村設備

◇(仮称)江北健康づくりセンター新築電気設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 2億2千600万円 相手方 雄光・拓電

◇(仮称)江北健康づくりセンター新築空調設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 4億9千758万7千200円 相手方 玉紘・産栄

◇(仮称)江北健康づくりセンター新築給排水衛生設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 2億4千970万円 相手方 東洋設備株式会社

◇(仮称)区営新田三丁目アパート改築工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 8億8千万円 相手方 似鳥・小倉

◇(仮称)区営新田三丁目アパート改築機械設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 1億7千334万9千円 相手方 東京ガスオールワン

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

契約方法 指名競争入札 契約金額 4千70万3千547円 相手方 廣瀬産業株式会社

◇(仮称)江北健康づくりセンター新築電気設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 7億2千600万円 相手方 雄光・拓電

◇(仮称)江北健康づくりセンター新築空調設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 4億9千758万7千200円 相手方 玉紘・産栄

◇(仮称)江北健康づくりセンター新築給排水衛生設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札 契約金額 2億4千970万円 相手方 東洋設備株式会社

◇(仮称)区営新田三丁目アパート改築工事請負契約

◇区議会議場音響・映像設備機器の購入について

契約方法 指名競争入札
契約金額 2千439万8千円
相手方 株式会社東和エンジニアリング

◇花畑川環境整備その1工事請負契約の変更について

変更前 6億2千127万7千800円
変更後 9億9千408万4千300円
相手方 株式会社 東京三田組(日本共産党足立区議団より反対討論あり)

報告

◇損害賠償額の決定について

相手方所有の工作物を破損等する損害を与えたことに対する損害賠償額を決定するもの

◇議決を得た契約の変更について

(仮称)北鹿浜小・鹿浜西小学校統合校新築電気設備工事
放棄した債権の報告について
信用保証料補助金返還金

◇令和3年度決算に基づく足立区の健全化判断比率の報告について

実質赤字比率 ー%
連結実質赤字比率 ー%
実質公債費比率 △3.8%
将来負担比率 ー%

◇令和3年度足立区内部統制評価の報告について

監査委員の審査に付した内部統制の評価を報告する書類について、監査委員の意見を付して提出するもの

◇和解について

総合型地域クラブに対する運動教室運営委託契約支払費用について和解するもの

◇和解について

支給済み生活保護費の返還について和解するもの

◇専決処分した事件の報告及び承認について(民事調停事件の申立て)

区立保育園の管理運営に関して、東京簡易裁判所に対し、調停の申立てをするもの

諮問

◇人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、市村智氏、鈴木又右衛門氏、橋本優氏、齋藤ゆきえ氏を推薦することについて、区長から議会の意見を求められたもの(異議ないものと答申することにより決定)

議員提出議案

可決したもの

◇北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議

◇女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

(決議及び意見書の全文は下記に掲載)

撤回承認したもの

◇足立区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

子どもの医療費の助成が受けられる年齢を拡大するもの

みなさんからの請願・陳情

不採択としたもの

◇原子力発電所の被災、事故に

対応する「地域防災計画」の早急な具体化を求める陳情
◇放射能汚染から子どもの健康を守るための陳情

◇海を守り漁業関連事業者、従事者の生業と水産物を守る意見書を国に提出することを求める陳情

(以上3件について日本共産党足立区議団より不採択に反対の討論あり)
―いずれも陳情の趣旨に沿いかねる

今定例会で可決した決議・意見書(全文)

北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議
北朝鮮は、本年に入ってから弾道ミサイルを繰り返し発射しており、特に10月4日に発射した弾道ミサイルは、青森県付近上空を通過する形で太平洋上落下したと推定されている。

北朝鮮が断じてこのような行為を繰り返すことのないよう、国際社会と連携して国連安全保障理事会決議に基づく断固とした対応をとるよう強く求める。
以上、決議する。

女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

政府は令和4年4月26日に「女性デジタル人材育成プラン」を取りまとめ、就労に直結するデジタルスキルの習得と、柔軟な働き方につながる就労環境整備の両面から支援し、女性デジタル人材育成の加速化を目指すこととした。

女性デジタル人材育成については、女性の経済的自立や重要産業であるデジタル業界への女性の円滑な労働移動支援、デジタル分野におけるジェンダーギャップの解消等を図る観点から極めて重要である。

本プランの着実な遂行と実現は、我が国の国際競争力を高め、生産性を向上させるうえで不可欠であり、大きな期待が寄せられている。

よって、足立区議会は、国会及び政府に対し、女性デジタル人材育成の強力な推進を図るため、左記の事項を実施するよう強く求めるものである。

記

- 1 時間的な制約がある場合においても、テレワークを活用した就労や実践的な経験を積むことができる研修等の環境整備を支援すること。
2 テレワークの定着・促進に向けた導入支援体制を早急に整備すること。

3 自治体規模に合わせた取組みや、本プランの参考事例を積極的に発信すること。
4 本プランの着実な遂行のために十分な予算を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣(少子化対策 男女共同参画)、デジタル田園都市国家構想担当大臣あて)

意見書・決議とは

区民の皆様の生活に直接関わることで、それが国や東京都等の仕事の場合には、区だけでは解決できません。このような場合には、区議会の意思を「意見書」として、国会や大臣・都知事等の関係機関に提出し、問題の積極的な解決を求めることができます。また、区議会の意見表明として「決議」を行うこともあります。



意見の分かれた案件(49件中8件)

※自民…足立区議会自由民主党 公明…足立区議会公明党 共産…日本共産党足立区議団 立民…足立区議会立憲民主党 改革…足立区議会議会改革を全力で推し進める会 無派…無会派
※○…賛成 ×…反対 産…産休

その他の案件(41件)は全会一致で可決されました。

Table with columns for '議案件名' (Proposal Name), '議決結果' (Decision Result), and various political parties (自民, 公明, 共産, 立民, 改革, 無派, 無派, 無派). Rows include financial reports and policy proposals.

足立区議会
自由民主党

討論者



和田 いたない 委員

令和3年度予算は新型コロナウイルス感染症対策を柱とし、経済を下支えするとともに未来に向け、区立小・中学校の改築事業や大病院整備、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業を着実に推し進め、コロナ禍の先へと踏み出すための予算であった。

また、12回の補正予算編成を行い、基金を積極的に活用しつつ、感染症対策の強化を図り、区民や区内経済を守り支えるための必要な対策を講じてきた。

今後も感染症対策経費の支出が継続する中で、増加する社会保障費への対応、防災対策の強化、公共施設の更新経費の増大等取り組むべき課題は多岐にわたっている。さらに、本委員会会期中、北朝鮮より相次いで日本国民の生命、財産に重大な影響を及ぼしうる行為が行われた。日本を取り

巻く安全保障環境を鑑みれば、15年前に定められたが、緩慢な進捗となっている足立区国民保護計画の履行、特に備えの整備等早急に取り組むべき課題も山積している。行財政改革等を進歩させ、区民の生命、身体及び財産を守り、コロナ禍の先を見据え、区民の負託に応える高い使命感と倫理観が反映された行財政運営を要望する。

また、我が党委員が指摘した、物価高騰対策、産業政策の増強、基礎学力定着、財政健全化、新たな被害想定を踏まえた防災対策、水害対策、太陽光発電と蓄電池の配置推進、自衛官募集周知、治安対策、警察との連携強化、防犯カメラ、児童登下校時の安全対策、部活動地域移行、竹ノ塚駅周辺のまちづくり、西新井のまちづくり、駐輪場整備、適正な事業予算の組み立て、管理職の兼務ない組織づくり、内部統制、更生保護予算等、様々な提案及び要望事項を尊重することと合わせ、その実現を強く要望する。

足立区議会
公明党

討論者



瀧上 隆 委員

令和3年度予算は「乗り越え、そして踏み出す。あだちから」と銘打ち、歳出の中心は新型コロナウイルス対策であり、ワクチン接種PCR検査体制の充実や病床確保といった感染症対策に加え、区内経済の下支えとして販路拡大事業や区内初の3割のプレミアム付き商品券事業等、区民や事業者を守り支えることに力を置いた事業を実施した。

このような事業は、我が党の要望が数多く反映され、区民の福祉、生活の向上につながる事業であり、高く評価をする。今後は、引き続き感染防止対策に気を緩めることなく、社会経済活動との両立を一段と進めなければならぬ。特に新型コロナウイルスの感染拡大によって収入の減少や失業の増加等、貧困や格差拡大等の課題解決に向

かっつての継続した支援が必要である。

また、相次ぐ食料品等の値上げから家計を守る対策が急務である。長引くコロナ禍やウクライナ危機、物価高といった「多重危機」が国民生活に押し寄せている。その中でどこまでも区民に寄り添い、生活を守る政策が今ほど求められている時はない。「誰一人取り残さない」を理念として区民に安心と希望を届けていきたいと思う。本決算特別委員会において、我が党の各委員から要望のあった首都直下地震対策、広域避難対策、DX推進、ひとり親支援、障がい者支援、高齢者補聴器購入費助成、高齢者紙おむつ支給の拡充、認知症対策、産後ケアの充実、こころといのちの相談支援事業、地域図書館の充実、高台まちづくり、竹ノ塚駅付近のまちづくり、給食費の無償化、通園バス置き去り防止対策、不登校支援、ケアリーパー自立支援等、区政全般にわたる多くの要望、提案は区民の切実なる要望ととらえ、今後の予算編成を含め実現できるよう切に要望する。

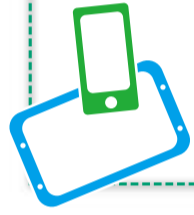


令和4年決算特別委員会の映像は区議会ホームページでご覧いただけます。右の2次元バーコードからスマートフォン・タブレットでも視聴できます。

※令和5年3月に開会予定の予算特別委員会の期間中、YouTubeでインターネット生中継を行いますのでぜひご覧ください。

※決算特別委員会委員の名簿と委員会の審査結果は8面に掲載しています。

特別
決算委員会の
討論(要旨)



日本共産党
足立区議団

討論者



西の原 えみ子 委員

令和3年度はわが党として歓迎する施策があったものの、コロナ対策としてののちやくらしを支えるために様々な給付を行っている時期に、あえて生きがい奨励金を廃止するという異常さであった。

当初、施策の再構築として打ち出した紙おむつの支給要件緩和について、新たに増えたのは380人程度と区の想定を大きく下回り、令和4年度に大幅な減額、敬老祝い金や元気応援ポイントも恩恵を受けたのは9

千700人程度であった。結局、生きがい奨励金の組み替えと称して、ごく一部の高齢者だけが恩恵を受ける制度に置き換わったのである。

公立保育園の定数を3年で51人減らす計画を打ち出し、子育てにも冷たい対応だ。コロナ対策の区独自予算は結局10億円余、コロナ禍でも区民サービスを削り、ため込んだ基金は史上最高の1千807億円となった。

一方で、補助第25号線や西新井公園の開発、さらに北綾瀬ベデストリアンデッキ、花畑川環境整備工事等を今後行おうとしている。区政の優先度、在り方が厳しく問われる中、「コロナからのち・くらしを守

足立区議会
立憲民主党

討論者



小くら 修平 委員

令和3年度予算は「乗り越え、そして踏み出す。あだちから」と銘打ち、新型コロナウイルス対策、区内経済の下支え等、区民や事業者を守り支える施策が示された。

令和3年度決算は良好な財政状況だが、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済への影響、物価高、今後の公共施設の更新、さらなる少子・超高齢社会の進展に伴う社会保障費の増や大規模災害への対応等、区財政を取り巻く環境は予断を許さない状況

である。

特に、ふるさと納税の影響による減収への対策や、特別区民税をはじめとする税や国民健康保険料等の収入未済、不納欠損対策、歳入の確保について、強い危機感とスピード感をもって取り組むことを望む。

令和3年度は、刑法犯認知件数が戦後最少の3千212件へ減少、大規模災害への備えとして水害・震災対策等のさらなる強化、竹ノ塚駅付近の上下緩行線の高架化工事の完了、行政サービスのデジタル化促進や公金取納率の向上等の取り組みについて評価するものであるが、本決算特別委員会では我が会派から指摘した、決算審査の内容を新

足立区議会
議会改革を全力
で推し進める会

討論者



長谷川 たかこ 委員

水害・震災対策の強化、東京女子医科大学附属足立医療センターの開設や文教大学の開校、竹ノ塚駅付近鉄道高架化や六町駅前安全安心ステーションの開設、妊娠期から出産・子育て期の切れ目のない支援の拡充、学校教育における発達障がい特性のある子どもたちや不登校児への支援事業等、議会で長年私が提案してきた政策を実現してきたことについて高く評価する。

一方、コロナ禍におけるマスク着用の弊

害として、子どもたちの集中力やコミュニケーション力、学習意欲の低下等、健全な心身の成長を損ねる状況があり、学校現場における過度なマスク着用強要の是正を求め、声が多く挙がっている。区として何もしない責任は大きい。区は、大切な我が子の大事な成長過程における健全な心身の成長と命に関わる大きな問題として、一人ひとりの親が大変危惧しているという切実な思いを認識し、子どもたちの環境改善とあらゆる方に支援が行き届く新たな支援制度の構築に努めるよう強く指摘する。

また、本委員会での質疑をまとめて、次のことを指摘する。

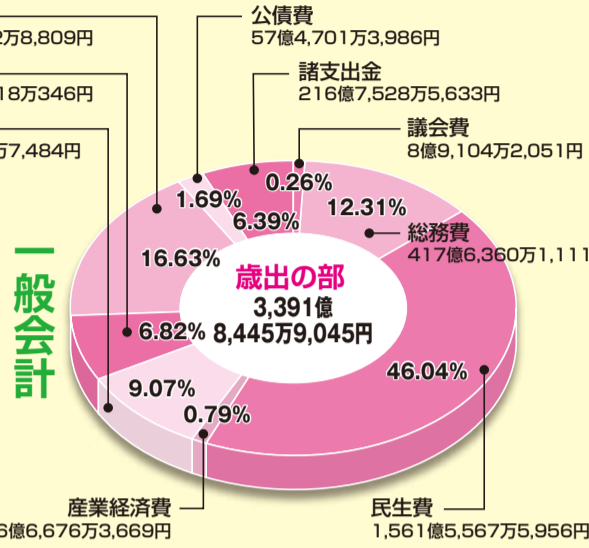
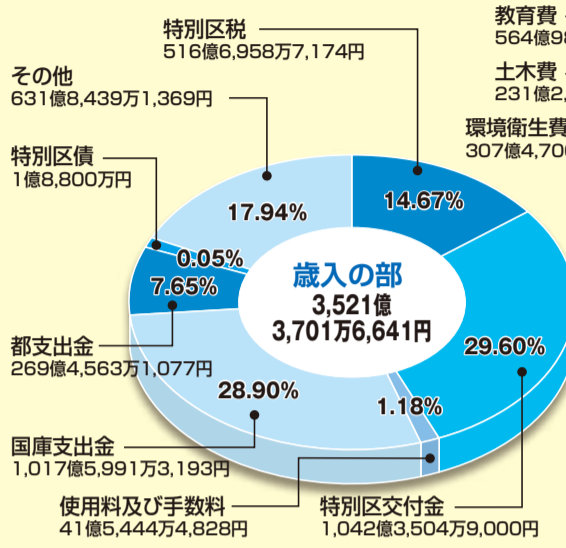
区立保育所の指定管理について、高齢者補聴器購入費助成制度の拡充について、障がい者やその家族に対する個々の人権に配慮した対応と改善について、医療的ケア児支援事業の構築について、文化・芸術について、コロナ禍における子どもたちを取り巻く環境の改善について、誰一人取り残さない地域子育てコミュニティの創設及び子ども第三の居場所の構築について、発達障がい特性児・者・家族支援について、不登校児童・生徒への支援について。

これらの指摘に対して、今後の予算編成並びに執行、区政に反映されることを強く要望する。

令和3年度 各会計決算

※図の構成比率は四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

区分		令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
一般会計	歳入総額	352,137,016,641円	370,789,328,648円	△18,652,312,007円	△5.0%
	歳出総額	339,184,459,045円	360,917,529,780円	△21,733,070,735円	△6.0%
国民健康保険特別会計	歳入総額	70,939,932,737円	68,793,060,016円	2,146,872,721円	3.1%
	歳出総額	70,032,980,407円	67,965,290,303円	2,067,690,104円	3.0%
介護保険特別会計	歳入総額	63,244,287,031円	61,986,133,577円	1,258,153,454円	2.0%
	歳出総額	61,538,171,601円	60,182,866,739円	1,355,304,862円	2.3%
後期高齢者医療特別会計	歳入総額	15,913,908,406円	16,125,905,082円	△211,996,676円	△1.3%
	歳出総額	15,720,123,133円	15,976,760,291円	△256,637,158円	△1.6%



一般会計 歳入の主なもの

特別区税	区民のみなさんから区へ納められた税金 特別区民税、軽自動車税など
特別区交付金	都が課税する固定資産税などを原資にし、 都と23区間で財源の均衡調整を図る交付金
国庫支出金 都支出金	特定の事業や使いみちのために、国や都 から交付される補助金など

一般会計 歳出の主なもの

総務費	災害対策や選挙、広報、町会・自治会活 動支援に関する経費
民生費	子育て支援、高齢者施策、生活保護など の福祉に関する経費
土木費	道路や公園の整備に関する経費
教育費	学力向上施策や校舎整備、幼稚園補助、 生涯学習に関する経費

決算特別委員会での審査と本会議での議決

今定例会で区長から、令和3年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」「後期高齢者医療特別会計」の歳入歳出決算についての議案が提出されました。

議会は、決算特別委員会を設置し、10月3日から12日までの間の6日間で審査を行いました。

決算の概要

令和3年度予算は、「乗り越え、そして踏み出す。あだちから」と銘打ち、感染症対策を柱とし、3割のプレミアム付き商品券事業等、区民や事業者を守り支えることに力点を置き、コロナ禍の先へと踏み出すための予算として編成されました。

様々な変化に対応するため、12次にわたる補正予算編成を行い、区民や区内経済を守り支えるための対策を講じてきました。

令和3年度予算が執行された結果、一般会計は歳入で財政調整交付金・特別区税が増加し、3千521億3千701万円余、歳出で義務的経費・投資的経費が増加し3千391億8千445万円余となり、前年度比では、歳入は5.0%の減、歳出は6.0%の減となりました。

普通会計決算では、実質収支は約113億2千800万円の黒字で、前年度に比べ約27億9千700万円の増となりました。経常収支比率は7.0%で、前年度に比べ6.2ポイント減少し、令和元年度以来2年ぶりに適正水準とされる80%以内に改善しました。

なお、健全化判断比率については、問題はありませんでした。

予算の執行が適切かつ効率的に行われたか、また、施策や事業の達成度、今後の改善点は何か等に視点を置き、各委員がそれぞれの立場で多方面かつ細部にわたり活発な質疑を展開し、慎重なる審査を行いました。

審査結果

10月12日に質疑を終了し、各会派の討論及び無党派議員の意見表明の後、採決しました。

その結果、令和3年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」「後期高齢者医療特別会計」の歳入歳出決算について、いずれも認定すべきものと決し、審査を終了しました。

(討論の要旨を7面に掲載)

10月19日の本会議において、長澤こうすけ決算特別委員会委員長が審査結果を報告した後、採決を行い、委員会の決定のとおり認定しました。

審査経過

審査の結果、各委員がそれぞれの立場で多方面かつ細部にわたり活発な質疑を展開し、慎重なる審査を行いました。

決算特別委員会委員の名簿及び委員会の審査結果

※自民…足立区議会自由民主党 公明…足立区議会公明党 共産…日本共産党足立区議団 立民…足立区議会立憲民主党 改革…足立区議会議会改革を全力で推し進める会 無派…無党派 ※○…賛成 ×…反対

区分	委員名	審査結果	自民		公明		共産		立民	改革	無派	無派									
			新井	吉岡	高山	かねだ	鹿浜	長澤	くじら	にたない	淵上	長井	くぼた	さの	石毛	水野	はたの	西の原	横田	きたがわ	おぐら
一般会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
国民健康保険特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
介護保険特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
後期高齢者医療特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									

長澤 こうすけ
委員長

くぼた 美幸
副委員長

きたがわ 秀和
副委員長

委員会活動

委員会名	日程	主な内容 (件数)			
		審査 議案	請願	陳情	報告 その他
総務委員会	8月17日(水)	2	4	12	
	9月26日(月)	28	2	4	13
	10月19日(水)	2			
区民委員会	8月18日(木)		2	10	
	9月27日(火)	1	3	8	
産業環境委員会	8月19日(金)		1	11	
	9月27日(火)	1	1	12	
厚生委員会	8月19日(金)	1	2	8	8
	9月28日(水)	3	2	9	10
建設委員会	8月22日(月)		2	10	
	9月29日(木)	4	2	12	
文教委員会	8月22日(月)	6	4	7	
	9月29日(木)	2	7	5	9
	10月19日(水)	1			
議会運営委員会	8月31日(水)		1		第3回定例会について
	9月16日(金)				第3回定例会について
	9月30日(金)		1		第3回定例会について
交通網・都市基盤整備調査特別委員会	8月23日(火)			7	
	10月13日(木)			5	
子ども・子育て支援対策調査特別委員会	8月24日(水)	1		6	
	10月13日(木)	1	1	6	
災害・オウム対策調査特別委員会	8月25日(木)		4	3	
	10月14日(金)		4	4	
エリアデザイン調査特別委員会	8月25日(木)		2	8	
	10月17日(月)		2	7	